

# 2016(平成28)年度留学生セミナー「富士山」

国際課留学生交流係

**実施日** 2016(平成28)年 11月26日(土)～27日(日)

**参加学生** 34名(留学生 30名、その他学生 4名)

**内容** 東海道歌川広重美術館、久能山東照宮、三保の松原、鳴沢氷穴・青木が原樹海、富士山ビジターセンター(スバルライン積雪通行止めの為、富士山5合目の代案)

平成28年11月26日(土)27日(日)の2日間、富士山、由比周辺にて第2回留学生セミナーを実施した。1日目は、バスでまず静岡県静岡市へ移動し、東海道歌川広重美術館にて浮世絵版画体験・見学を行った。

浮世絵版画体験は、4色の版画を色ごとに重ねることで富士周辺の風景が描かれた1枚の浮世絵が完成するというもので、留学生たちはとても楽しそうに体験し、自分で作った浮世絵を大事そうに持ち帰っていた。また、実際体験したことで、浮世絵についても身近に感じてもらった。

その後、昼食で由比の名産である桜えび定食をいただいたのち、日本平のロープウェイにて広大な駿河湾と紅葉した山々を望んだ。続いて、久能山東照宮では、日本語ガイド先導のもと、各グループに分かれ歴史の解説を聞きながら見学を行った。境内には、1000段以上の石段があり、その頂上からの景色は圧巻だった。

そこから宿舎近くの三保の松原へ移動し、波打ち際の富士山の見えるポイントで記念撮影を行った。この日は一日快晴で、1年のうち3分の1ほどの日数しか望むことができないという、富士の全景がくっきりと見え、留学生は夢中になってシャッターを切っていた。

2日目は、バスで富士山周辺の鳴沢氷穴・青木が原樹海に移動し、ネイチャーガイドの解説でツアーを行った。

鳴沢氷穴付近は雪も多く積もっており、雪のない東南アジアの学生をはじめとして学生は大喜びで雪合戦などをしはしゃいでいた。氷穴内は0℃～-3℃とかなり寒く、低くかがまないと通れない部分もあり、探検のように楽しんだ。

2日目のメインイベントであった富士5合目は、残念ながら積雪によるスバルライン通行止めの為叶わかったが、1日目にきれいな富士山を望むことができ、日本の自然を感じるツアーとなった。

